

市内中学生が 化学実験体験

標本作りなど

金沢市ゆかりの化学者高峰讓吉博士の資料が化学遺産に認定されたことを記念する化学実験体験講座が、金沢大宝町キャンパスであった。市内の中学一、二年生の十三人が参加し、四つの研究室に分かれて実験をした。

河崎洋志教授(脳神経医学)の研究室で体験したのは標本作り。生徒たちはネズミの脳を百分の一ミにカットし、ガラス板に載せて

溶液に漬けた標本を、顕微鏡で観察した。

中学二年の渡辺大地さんは「資料で見た脳を、実際に見ることができて面白かった」と話した。

河崎教授は「研究は難しいと思われがちだが、やってみると誰でもできる。身近に感じてもらえたら」と話した。

(寺田結)



標本作りに取り組む中学生
|| 金沢大宝町キャンパスで